

産業成長戦略の令和2年度の進捗状況等

分野：林業分野

戦略の柱： 原木生産の拡大

取組方針：労働生産性の向上による事業地の拡大、皆伐と再生林の促進、施業集約化の強化

【概要・目的】

豊富な森林資源を余すことなく活用し、中山間地域に「利益を還元する」仕組みを構築していくため、林業事業者への事業戦略づくりと連携した作業システムの改善支援等により労働生産性の向上を促進するとともに、皆伐と再生林を一体として推進し、原木生産量の拡大と持続可能な森林資源の確保に取り組む。併せて、林地台帳や詳細な森林資源情報等の活用により、施業の集約化を促進し、成熟した森林資源を最大限に循環利用する仕組みを構築する。

令和2年度当初計画（P）

1. 労働生産性の向上による事業地の拡大

(1) 作業システムの改善による生産性の向上

- ・高性能林業機械の導入
現地に対応した作業システム構築のための高性能林業機械の導入
- ・10tトラック道等の整備
林業専用道(規格相当)による路網整備への支援
- ・作業システムの改善
高性能林業機械の効率的な稼働に向けた改善策等の取組への支援、林業事業者の事業戦略に基づく改善活動等への支援
- ・ICT等の活用促進
事業者の現場改善のためのICT等に関する情報収集と提供
ドローンを活用した生産管理の簡素化

2. 皆伐と再生林の促進

(1) 皆伐の促進

- ・林地台帳等を活用した施業地の確保
事業者の森林情報収集等への支援
- ・皆伐に必要な作業道等の整備
効率的な作業道の開設支援、作業道や集材架線設置への支援

(2) 再生林の促進

- ・地域ぐるみでの再生林推進の取組を強化
増産・再生林推進協議会の運営
- ・林地残材等搬出支援を通じた再生林への支援の強化と低コスト育林の推進
低コスト育林等への支援、低コスト育林の手法や早生樹等の多様な樹種による再生林の検討及び普及
- ・花粉症対策苗等の生産体制の強化
採種園の整備、早生樹に関する情報収集とPR、コンテナ苗等の生産施設の整備支援

令和2年度の取り組み状況（D）

1. 労働生産性の向上による事業地の拡大

- (1) 作業システムの改善による生産性の向上
- ・林業機械の導入・リースの支援：13事業者（16台）
 - ・10tトラック道等の整備への支援：5路線
 - ・新規重点支援組合の支援：2組合（宿毛市森組、大月町森組）
 - ・森林組合支援ワーキングの開催
（第1回5/13～15、第2回8/6、第3回12/4、第4回3/18（予定））
 - ・事業戦略策定等支援事業者の個別ヒアリング（5事業者：7/20、22、30、8/31、9/11、30、10/3、22、29、30、11/6、16、27、30、2/9報告会（予定））
 - ・スマート林業の実現に向けた情報提供及び研修会の開催
（第1回WG5/13～15、6/15～23、第2回WG8/6、第3回WG12/4（研修会55名））
 - ・高吾北地域林業成長産業化地域創出モデルの取り組み協議（5/19、7/6）
 - ・航空レーザーデータを活用した地形解析及び路網等計画研修（県職員：7/29、9/25 19名）

【新型コロナウイルス感染症による影響と実施した対策】

- ・木材需要の減退により原木価格の下落と原木在庫の増
- ・原木在庫の一時保管に対する支援による生産活動の継続
県事業分(5月補正)：2事業者、国事業分：4事業者
- ・原木生産の現状等について木材増産推進プロジェクトチームによる情報共有と今後の対応協議（第1回6/11、第2回9/11、第3回2/3（予定））
- ・森林組合支援ワーキングによる情報共有(第1回5/13～15、第2回8/6、第3回12/4、第4回3/18（予定）)
- ・原木生産の現状等について原木増産ヒアリングでの情報収集（47事業者：6/15～23）
- ・生産性の向上及び新たな生活様式への対応を進めるため、スマート林業の推進による接触機会の縮減に向けた支援の実施（9月補正：スマート林業推進事業費補助金20事業者）

2. 皆伐と再生林の促進

(1) 皆伐の促進

- ・森林組合、林業事業者が行う皆伐事業地の掘り起こし支援：（一時休止）
 - ・素材生産業協同組合連合会等への事業周知：（4月～5/26）
 - ・公社営林の事業実施情報の収集及び林業事業者への提供：（5/27、8/25、9/24）
 - ・原木増産推進事業における作業道開設や集材架線への支援：26事業者（25、145m（予定））
- #### 【新型コロナウイルス感染症による影響と実施した対策】
- ・皆伐を抑制する事業者が出ており、前年に比べ減産となる見込み
 - ・雇用維持のための木材生産を伴わない保育間伐や作業道への支援
林業事業者：国の事業を活用した保育事業への一時的転換や作業道等の先行実施の働きかけ（6/15～23）と要望調査
市町村：市町村有林での保育事業の発注や事業者が行う保育事業への補助の予算化の要請（5/18、6/10）、8市町で実施(予定含む)
 - ・コロナウイルス対策を踏まえ、補助金交付要綱等の要件を緩和し、支援開始（7月下旬～）

(2) 再生林の促進

- ・森林整備（再生林、隔年下刈り、間伐等）事業概要の周知（5/11～29）、市町村広報への掲載依頼（8/4）：広報誌への掲載（予定含む）25、HPへの掲載（予定含む）18）、業界誌への掲載（樹海8月号、公社の森8月号）
- ・一貫作業、再生林、低コスト育林の推進及びPR、事業者の個別ヒアリングの実施：47事業者（6/15～6/23） ・採種園候補地調査(5/14、23、9/10、11/16)
- ・コンテナ苗、普通苗の生産状況調査の実施（5/18～6/10）
- ・採種園の整備（R3.3月（予定））：植栽0.10ha（予定）
- ・種苗生産事業者講習会(5/26、4名)・コウヨウザン(早生樹)の補助事業での適用について国の承認確定（8/25）、コウヨウザンの植栽に関する指針の作成及び周知（R3.3（予定））
- ・森林技術センターによるコンテナ苗育苗技術指導（西峰地区8/18）
- ・コンテナ苗生産施設整備の支援（8月～）生産者等6名・（支援内容：自動灌水施設等）
- ・再生林推進員の活動支援開始（5/14～）：推進活動面積106ha（予定）
- ・増産・再生林推進協議会開催(須崎8/4、幡多8/7、安芸8/12、8/31～9/10、11/24、中央東9/1～10、中央西8/28、9/2～10)

【新型コロナウイルス感染症による影響と実施した対策】

- ・原木価格の下落に伴う再生林への意欲の低下
- ・増産・再生林推進協議会による地域ぐるみで森林所有者への働きかけの実施
- ・経営継続補助金のPR及び事業者の計画策定支援、説明会のサポート（7/10）：15事業者活用（1次募集決定6、2次募集申請9）

課題と令和3年度の取り組み（C、A）

見えてきた課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により先行きが見通せず原木生産活動が抑制されるなか、林業事業者の経営の安定化に向けた対応
- ・森林資源の循環利用に繋がる仕組みづくり

令和3年度の取り組み（予定）

1. 労働生産性の向上による事業地の拡大

- (1) 作業システムの改善による生産性の向上
- ・高性能林業機械の導入等への支援
現地に対応した作業システム構築のための高性能林業機械の導入等
 - ・10tトラック道等の整備
林業専用道(規格相当)による路網整備への支援
 - ・作業システムの改善
高性能林業機械の効率的な稼働に向けた改善策等の取組への支援、林業事業者の事業戦略に基づく改善活動等への支援
 - ・[拡充] ICT等を活用したスマート林業の促進
事業者の現場改善のためのICT等に関する情報収集と提供
ドローンを活用した森林資源の解析手法の検討
新たな生産システムの導入促進
ICTハーベスタ及び需給情報の共有に関する研修会の開催

2. 皆伐と再生林の促進

- (1) 皆伐の促進
- ・林地台帳等を活用した施業地の確保
事業者の森林情報収集等への支援
 - ・皆伐に必要な作業道等の整備
効率的な作業道の開設支援、作業道や集材架線設置への支援
 - ・流通・加工事業者との連携強化

(2) 再生林の促進

- ・地域ぐるみでの再生林の推進の取組を強化
増産・再生林推進協議会の運営
- ・再生林への支援と低コスト育林の推進
林地残材等搬出支援を通じた再生林の促進
森林整備の低コスト化の推進
- ・花粉症対策苗等の生産体制の強化
採種園の整備、コンテナ苗等の生産施設の整備支援と育苗技術指導
- ・[新規]持続可能な森づくりの推進
コウヨウザン(早生樹)等の多様な樹種による森林の整備
森林吸収源対策及び環境に配慮した木材生産の仕組みづくり

令和2年度当初計画 (P)

3. 施業集約化の強化

(1) [拡充] 森の工場の拡大・推進

- ・森林資源情報の高度化
- ・効率的な計画づくりの支援及び制度のPR、森林経営管理制度を活用した集約化の促進

(2) 間伐の推進

- ・森林整備のPRや補助事業による支援

計画を進めるに当たってのポイント

1. 森林組合等の林業事業体の生産性の向上と集約化
2. 地域ぐるみでの再造林の促進と低コスト育林の推進

令和2年度の取り組み状況 (D)

3. 施業集約化の強化

(1) [拡充] 森の工場の拡大・推進

- ・森林資源情報の高度化と市町村等への普及に向けた研修会の開催(4回・参加者のべ84名内訳(8/24・25:17名、26・27:24名、9/9・10:28名、10/12・13:15名))
- ・既存工場の拡大:13事業体 16団地 1,013.46ha
- ・新規工場の承認:9事業体 10団地 990.34ha
- ・復活工場の承認:3事業体 3団地 724.06ha
- ・森林経営管理制度に基づく登録事業体の状況調査(6月75団体、9月75団体)
- ・育成経営体(意欲と能力のある林業経営者を含む)の公募(2/17~12/28)(新規3団体予定)

(2) 間伐の推進

- ・森林整備に関する事業概要の周知(5/11~29)、市町村広報への掲載依頼(8月)、業界誌への掲載(8~9月)【再掲】
- ・市町村と連携した保育施業等への支援事業の推進

【新型コロナウイルス感染症による影響と実施した対策】

- ・新規及び休止中の森の工場の掘り起こし並びに森林資源情報の高度化(デジタル化)に係るヒアリングの実施:47事業体(6/15~6/23)

※共通【新型コロナウイルス感染症による影響と実施した対策】

- ・各種事業担当者会開催(4/24→資料送付等)
- ・原木生産等についての影響調査
林業事業体(4/9、10、30、5/14、6/3、10、7/2、8/25、10/30、12/1、3月まで(予定))
森林組合(4/2、4/3、4/9、4/10、4/13、4/30、5/2、5/11、6/9、7/16、9/3、11/13、12/7、3月まで(予定))
- ・ガイドライン、融資制度、補助金等の周知及び経営継続補助金の計画作成等のサポート(随時)

課題と令和3年度の取り組み (C、A)

3. 施業集約化の強化

(1) [拡充] 森の工場の拡大・推進

- ・森林資源情報の高度化(デジタル化)及び活用
林業事業体の森林資源情報の高度利用(路網設計等)に向けた研修等の実施
- ・効率的な計画づくりの支援及び制度のPR、森林経営管理制度を活用した集約化の促進
市町村と森林の活用情報等の共有

(2) 間伐の推進

- ・森林整備のPRや補助事業による支援
- ・市町村と連携した保育施業の推進

【令和2年度末の目標】

1. 森の工場における搬出間伐の労働生産性 = R2年度:3.70m³/人日 (H30比 +0.11m³/人日)
2. 皆伐による原木生産量 = R2年次:42.3万m³ (H30比 +4.6万m³)
3. 民有林の再造林面積 = R2年度:430ha (H30比 +167ha)
4. 森の工場の承認面積 = R2年度:77,400ha (R元比 +3,066ha)
5. 間伐による原木生産量 = R2年次:29.5万m³ (H30比 +2.6万m³)

【直近の成果】

1. 森の工場における搬出間伐の労働生産性 : R元実績3.75m³/人日 【対前年比 4%増】
2. 皆伐による原木生産量 : 2-四実績 11.9万m³ 【対前年同期比 8%減】
3. 民有林の再造林面積 : 2-四実績 167.13ha 【対前年同期比 21%増】
4. 森の工場の承認面積 : 2-四実績見込み 75,012.79ha (R元比+678.79ha 【対前年同期比 224%増】)
5. 間伐による原木生産量 : 2-四実績 14.4万m³ 【対前年同期比 5%増】